

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公表番号】特表2005-535760(P2005-535760A)

【公表日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-046

【出願番号】特願2004-529074(P2004-529074)

【国際特許分類】

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 3/20 (2006.01)

C 1 1 D 17/08 (2006.01)

D 0 6 L 1/12 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 3/20

C 1 1 D 17/08

D 0 6 L 1/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月1日(2010.3.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

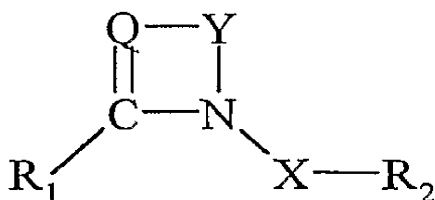
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記成分 A ) 及び B ) を含んでなる液体洗濯用組成物。

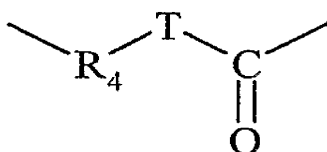
A ) 防汚剤、及び下記一般式で表されるアミンを含む液体洗濯用製品

【化 1】



(式中、Yは(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>であり、nは2又は3であり、R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>は、独立にC<sub>8</sub>～C<sub>30</sub>アルキル又はアルケニル或いはかかるアルキル基の混合物であり、QはCH又はNであり、Xは下記一般式の基又はR<sub>4</sub>である。)

【化 2】

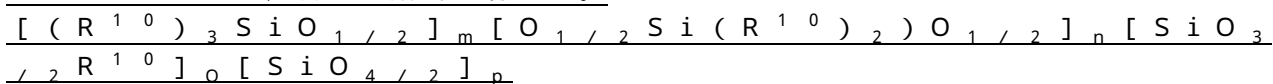


(式中、TはO又はNR<sub>5</sub>(R<sub>5</sub>はH又はC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルである)であり、R<sub>4</sub>は二価C<sub>1</sub>～C<sub>3</sub>アルキレン基又は(C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>O)<sub>m</sub>であり、mは1～8の数である。)、並びに

B) 下記 1)～7) からなる群から選択されるシリコーン添加剤。

1) 乳化重合したアクリレート化シリコーンポリエチレングリコール変性ポリジメチルシ

ロキサンであって、次の一般式を有する。

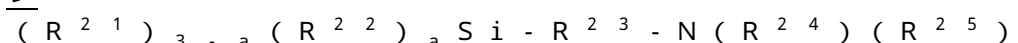


(式中、 $R^{10}$ は $R^{11}$ 及びPから選択され、各 $R^{11}$ は同一のもの又は異なるものであり得ると共に、一価炭化水素基であり、各Pは $R^{13} [O(C_b H_{2b} O)_a COCR^{14} = CH_2]_c$ であり、 $R^{13}$ は多価有機部分であり、cは( $R^{13}$ の原子価 - 1)の原子価であり、 $R^{14}$ は水素又はメチルであり、bは2～4であり、aは1～1000であり、 $m + n + p + o$ は1～100に等しく、1以上の $R^{10}$ はPであり、nは1～100であり、oが0でない場合、n : oは10 : 1未満であり、pが0でない場合、n : pは10 : 1未満であり、mは0～10である。)

2) 高分子量アミノ変性ポリジメチルシロキサンの乳濁液であって、次式のシラノール(ヒドロキシル末端停止)流体



(式中、 $R^{20}$ はヒドロキシルであり、各 $R^{50}$ は独立に炭素原子数1～12のアルキル基であり、dは1～50の整数である。)と、次式の一般構造を有するアミノ官能性シラン



(式中、 $R^{22}$ は炭素原子数1～12のアルキル基であり、 $R^{21}$ は炭素原子数1～6のアルコキシ基であり、 $R^{23}$ は炭素原子数1～10のアルキレン基であり、 $R^{24}$ 及び $R^{25}$ は水素、アルキル、アリール、アラルキル及びアミノアルキルからなる群から独立に選択され、aは0又は1である。)との乳化縮合反応生成物である。

3) 線状アミノポリアルキレンオキシド変性ポリジメチルシロキサンであって、式 $\{ X R^{32} [Si O (R^{31})_2]_g Si (R^{31})_2 R^{32} X \}$ の単位と式 $[Y O (C_b H_{2b} O)_a Y]$ の単位と結合基 $-NR^{33}-$ を含む非加水分解性の非(AB)<sub>n</sub>型ブロックコポリマーからなる群から選択される。

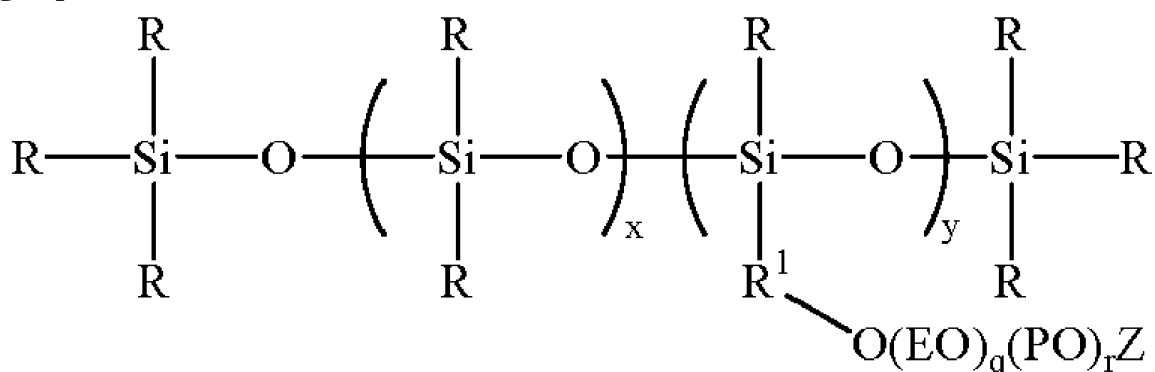
(式中、 $R^{31}$ はアルキルであり、 $R^{32}$ は二価有機部分であり、X及びYは、エポキシドの開環で生じる二価有機基から独立に選択され、 $R^{33}$ はアルキル、アリール、アラルキル、含酸素アルキル、含酸素アリール及び含酸素アラルキルからなる群から選択され、bは2～4であり、aは2～100であり、gは1～500である。)

4) 中和した線状アミノポリアルキレンオキシド変性ポリジメチルシロキサンであって、式 $\{ X R^{32} [Si O (R^{31})_2]_g Si (R^{31})_2 R^{32} X \}$ の単位と式 $[Y O (C_b H_{2b} O)_a Y]$ の単位と結合基 $-NR^{33}-$ を含む脂肪酸で中和した非(AB)<sub>n</sub>型ブロックコポリマーからなる群から選択される。

(式中、 $R^{31}$ はアルキルであり、 $R^{32}$ は二価有機部分であり、X及びYは、エポキシドの開環で生じる二価有機基から独立に選択され、 $R^{33}$ はアルキル、アリール、アラルキル、含酸素アルキル、含酸素アリール及び含酸素アラルキルからなる群から選択され、bは2～4であり、aは2～100であり、gは1～500である。)

5) ペンダントポリアルキレンオキシド変性ポリジメチルシロキサンであって、次式のものである。

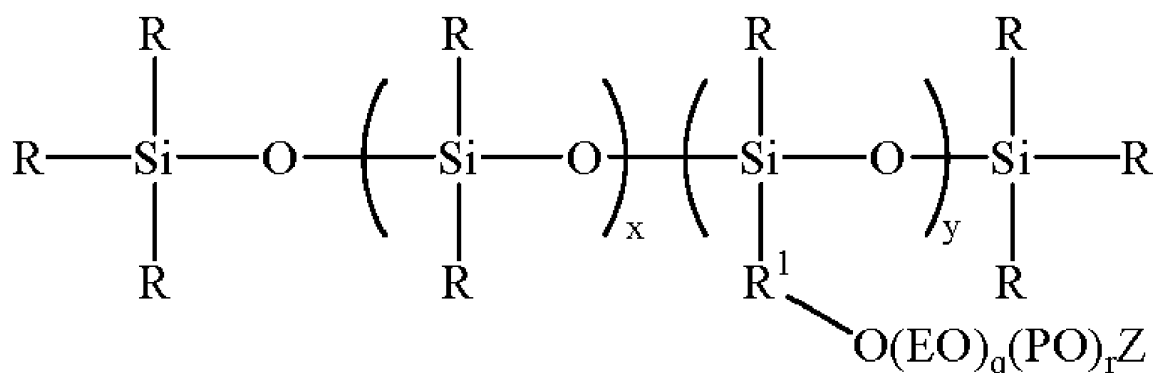
【化3】



(式中、各 R は独立に炭素原子数 1 ～ 12 の一価炭化水素基であり、 $R^1$  は炭素原子数 1 ～ 10 のアルキレン基であり、EO はエチレンオキシであり、PO はプロピレンオキシであり、x は 0 ～ 2 であり、y は 1 ～ 5 であり、q は 5 ～ 10 であり、r は 0 ～ 10 であり、Z は水素又は炭素原子数 1 ～ 12 の一価炭素基である封鎖基である。)

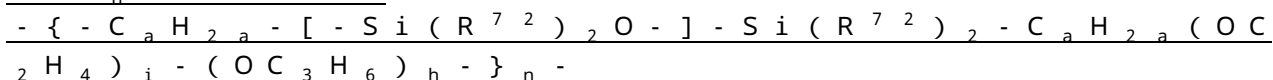
6) ペンダントポリアルキレンオキシド変性ポリジメチルシロキサンであって、次式のものである。

【化 4】



(式中、各 R は独立に炭素原子数 1 ～ 12 の一価炭化水素基であり、 $R^1$  は炭素原子数 1 ～ 10 のアルキレン基であり、EO はエチレンオキシであり、PO はプロピレンオキシであり、x は 10 ～ 100 であり、y は 1 ～ 20 であり、q は 5 ～ 40 であり、r は 2 ～ 50 であり、Z は水素又は炭素原子数 1 ～ 12 の一価炭素基である封鎖基である。)

7) 線状ポリアルキレンオキシド変性ポリジメチルシロキサンであって、次の一般式の (AB)<sub>n</sub> ポリマーである。



(式中、各  $R^{7/2}$  は独立に炭素原子数 1 ～ 12 の一価炭化水素基であり、a は 2 ～ 4 であり、i は 5 ～ 30 であり、h は 3 ～ 10 であり、n は 1 ～ 2 である。)

【請求項 2】

前記 1) ～ 7) からなる群から選択されるシリコーン添加剤の中の、2) 高分子量アミノ変性ポリジメチルシロキサンにおける前記  $R^{2/4}$  及び  $R^{2/5}$  は  $C_1 \sim C_6$  アルキルである請求項 1 記載の液体洗濯用組成物。

【請求項 3】

前記 1) ～ 7) からなる群から選択されるシリコーン添加剤の中の、4) 中和した線状アミノポリアルキレンオキシド変性ポリジメチルシロキサンにおける前記脂肪酸がステアリン酸である、請求項 1 記載の液体洗濯用組成物。

【請求項 4】

織物を洗濯する方法であって、請求項 1 に記載の液体洗濯用組成物の存在下で前記織物を洗濯することを含んでなる方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

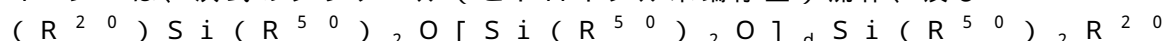
【訂正対象項目名】0039

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0039】

シリコーン 2 は、次式のシラノール（ヒドロキシル末端停止）流体、及び



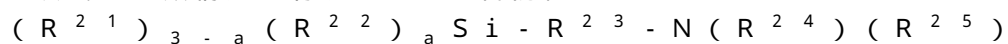
(式中、

$R^{2/0}$  はヒドロキシルであり、

各  $R^{5/0}$  は独立に炭素原子数 1 ～ 12、好ましくは 1 ～ 6、さらに好ましくは 1 のアルキル基であり、

d は 1 ~ 50、好ましくは 10 ~ 50、さらに好ましくは 20 ~ 50 の整数である。)

次式の一般構造を有するアミノ官能性シラン



(式中、

$R^{22}$  は炭素原子数 1 ~ 12、好ましくは 1 ~ 6、さらに好ましくは 1 のアルキル基であり、

$R^{21}$  は炭素原子数 1 ~ 6 のアルコキシ基、好ましくはメトキシであり、

$R^{23}$  は炭素原子数 1 ~ 10、好ましくは 3 のアルキレン基であり、

$R^{24}$  及び  $R^{25}$  は水素、アルキル (好ましくは  $C_1 \sim C_6$  アルキル)、アリール、アラキル及びアミノアルキルからなる群から独立に選択され、

a は 0 又は 1、好ましくは 1 である。)

の乳化縮合反応生成物として記載される市販品である。